

安平地区協働実行プラン[R5~R7]に基づき取り組む事業の概要

- ◆協働コミュニティ圏：旧安平小学校区の範囲（主に安平第1-第3、瑞穂、緑丘の5自治会）
＜活用事業名＞ 安平町地区別協働のまちづくり支援事業交付金

■背景・課題・将来像など [データはR4年3月末時点]

- ・安平地区は、安平町の中部にあり瑞穂ダムを有する農業地帯
- ・安平地区5自治会（303世帯、576人）によるコミュニティ圏
- ・高齢化率：46.9%、少子化率8.2%、
- ・公共施設等：公民館1、交番1、JR駅1、小中学校なし。

将来像(目標)

- ◎人と自然が共生しながら幅広い世代が交流し、支え合うアピラらしい一体感があり、多世代がいきいきと元気に、いつまでも心穏やかに暮らせる地区
- ◎地域資源を活かした移住と観光が活発で、気軽な会話ができるアピラらしい交流から、多世代まるごと陽気で楽しくつながり、子どもの声がいつも響いていて若者が元気に活躍する地区
- ◎地域の特色を活かしながら、新たな雇用、移住、交流を生み出す賑わいと、安全安心が保たれる穏やかな暮らしも同時に創生する活用

■実施体制(=地域運営組織)

安平地区まちづくり協議会

- 生活支援事業
- 交流活性化事業
- 閉校活用PT事業
- その他運営管理事業

構成員

安平地区連合自治会

5自治会(安平第1、第2、第3、瑞穂、緑丘)

NPO法人3団体ほか

(株)スキットほか

サポート(事務局)

【政策推進課所属】 集落支援員1名、地域おこし協力隊2名

■安平地区まちづくり協議会で取組活動

◆生活支援事業＜事業費：1,250千円＞

1. 公民館を拠点とした住民交流
 - (1)小さな困りごと相談窓口
 - (2)役場の手続きサポート
 - (3)高齢者の見守り・声かけ
 - (4)子どもの居場所づくり ほか

◆交流活性化事業＜事業費：1,250千円＞

2. 移住・交流の推進
 - (1)空き家等活用体制の整備及び相談活動
 - (2)婚活イベントや暮らし体験ツアー等の実施
 - (3)安平小OBや安平地区ファン等との交流
 - (4)人と人をつなぐコミュニティビジネス活動 ほか

◆閉校活用プロジェクト事業＜事業費：1,250千円＞

3. 閉校活用対策
 - (1)閉校活用プロジェクトチームの設置
 - (2)閉校活用方策の調査・研究
 - ・PTによる検討会議の開催
 - ・先進地視察研修の実施 ほか

◆その他運営管理事業ほか＜事業費：1,000千円＞

4. 生活環境の維持保全対策
 - (1)公的施設等の状況点検及び維持管理など
5. 協議会の運営管理
 - (1)集落点検やワークショップの実施 ほか

※掲載事業以外に、予備費500千円を計上